



**convera**  
SMART MONEY MOVES

## 2023年度 現代奴隷制と人身 売買に関する声明

この声明は、オーストラリア連邦現代奴隷法2018および英国現代奴隷法2015第54条(1)に基づき、オーストラリアと英国でビジネスを行う関連会社を代表して、Convera Topco Limitedによって作成されています。

## エンティティ

この声明は、2023年1月1日から2023年12月31日までの期間を対象としています。その期間中、以下の企業はConvera Topco Limitedによって所有および運営されていました。この声明は以下のエンティティの取締役会に適用および承認されました。

会社	会社番号
Convera Australia Pty Ltd	150 129 749
Convera Australia Holdings Pty Ltd	654 352 244
Convera UK Limited	04380026
Convera UK Financial Limited	13682869

## コンベラの哲学

コンベラは現代奴隷制と人身売買を非難します。私たちは、業務に強制労働、非自発的労働、児童労働を用いておらず、ビジネスとサプライチェーンのいかなる部分においてもこうした活動を禁止しています。私たちは、従業員、パートナー、請負業者、コンサルタント、ベンダー、サプライヤーなど、コンベラのビジネスに関わるすべての方に、この理念を順守することを求めています。すべての従業員、特に調達、販売、運営部門の従業員は、新しいお客様やベンダーのオンボーディング時に特に注意を払うことが重要です。

私たちは、倫理的かつ誠実に行動し、高い専門水準で対応し、明確かつ透明なコミュニケーションを行い、適用される法律や規制を順守することに尽力しています。この声明はオーストラリア連邦現代奴隷法2018および英国現代奴隷法2015に基づいて作成されています。

## コンベラのビジネスモデル

コンベラは、通貨の両替から、リスク管理ソリューションや支払いプラットフォームに至る、支払いおよびヘッジソリューションを提供します。私たちのシステムには、お客様の商業ニーズをサポートすると同時に、お客様に良好なエクスペリエンスをもたらす設計がなされています。洗練された広大なグローバル決済ネットワークを活用したコンベラの機能は、コンプライアンスとリスクを中核に据え、お客様の効率性と正確性を高めるために構築されています。

コンベラの運営モデルである支払いの促進は、主に国境をまたぐ複数通貨間の取引が対象となります。コンベラのビジネスのほとんどは、スポットレートでの通貨の両替に関連しています。一部の国々でコンベラは、お客様が将来の支払いを容易に行えるように、外貨の先渡契約やオプション契約も行っています。

コンベラは、世界中で2万5千を超えるお客様と提携しており、中小企業の経営者、企業の財務担当者、法律事務所、教育機関、金融機関、NGOをサポートしています。コンベラの価値観と行動規範は、200を超える国と地域で商取引を推進することを目的として、人材、製品の革新、テクノロジーへの投資を優先するお客様第一主義の文化を義務付けています。

コンベラは、世界21か国の31のオフィスで1,900人を超える従業員を擁しています。チームはお客様に価値をもたらす、コンベラの価値観を体現することに熱意を持っています。私たちは、大きなアイデアを持ち、倫理的かつ誠実に行動する、成長志向で成果主義の人材の文化を育むことに重点を置いています。真にグローバルな企業である私たちはまた、多様な背景を持ち、独自の視点を持つ人材を求めるとともに、それを称賛しています。

コンベラは、人身売買や現代奴隷制での資金移動を含む、マネーロンダリングのリスクを軽減するため、お客様やベンダーと協力し続けています。コンベラは、サービスがそのように犯罪者に悪用されるのを防ぐため、システムとプロセスに対する活発な点検と強化を行っています。信頼と尊敬という共通の価値観を通じて、私たちは次のことを目指します。

- 人権への悪影響を生んだり助長したりすることを避ける
- 運営において人権侵害の発生を防止する

- 行動規範と人権ポリシーを通して人権を促進する

## コンベラのベンダーとサプライチェーン

コンベラは現在、世界中の約1,540社のベンダーと提携することで、自社のビジネスを支えるとともに、お客様と利害関係者へのコミットメントに対応しています。コンベラのベンダーは、クラウドベースのソフトウェアサービス、ソフトウェア・アプリケーション・サポート、マーチャント・アクワイアリング・サービスに加えて、オペレーティングシステムの開発、ホスティングおよび保守、その他の運営活動など、さまざまな商品やサービスを提供しています。

## リスクおよびコンプライアンス プログラム

コンベラのリスクおよびコンプライアンス プログラムは、現代奴隷制や人身売買と闘う私たちの取り組みの中心となります。金融活動作業部会（FATF）などの組織が作成した国際基準に基づくコンプライアンスプログラムのフレームワークが、包括的でグローバルなポリシーと手続きにより定められています。

コンベラのリスクおよびコンプライアンス プログラムは、個人やコミュニティに危害をもたらす現代奴隷制、人身売買、その他の人権侵害のリスクを軽減することを促します。コンベラのリスクおよびコンプライアンス プログラムは、法律と規制の要件に準拠したリスクベースのアプローチを活用しています。ビジネス分野、地理的要因、製品、お客様、ベンダーに渡る管理の有効性評価を含めた、現在および将来のリスクの評価のため、コンプライアンス企業リスク評価が毎年実施されます。

コンベラは、現代奴隷制や人身売買と闘う取り組みの一環として、「コンプライアンスとリスクの調査と分析（CRIA）」チームを設立しました。CRIAチームは、法執行、銀行、法務などの背景を持つ50名を超える金融犯罪の専門家で構成されています。CRIAは、現代奴隷制、人身売買、児童搾取といった起こりうる金融犯罪の事例を特定、防止、報告するために活動しています。

CRIAは、いくつかの自動化ツールを利用して、起こりうる金融犯罪の兆候の監視と特定を行います。これらのツールに含まれる取引スクリーニングソフトウェアや監視ソフトウェアは、アルゴリズムを使用して、ビジネス性質、地理的要因、キーワード、通貨、悪質メディア、および、金融犯罪との関連が疑われる他の行動パターンといった、リスク指標を識別します。コンベラは、規制当局、法執行機関、他の業界関係者と連携することで、スタッフの教育や、定期的な評価と更新を行い、奴隷制と人身売買対策の取り組みが、常に進化する金融犯罪の世界に適合するようにしています。

## ポリシー

コンベラのポリシーと手続きには、現代奴隷制や人身売買の捜索と防止など、倫理的なビジネス慣行の実施に対する私たちのコミットメントが組み込まれています。それらは以下を含みます：

### 1. コンベラの価値観

コンベラの価値観は、私たちがお客様にどのように対応し、自社をどのように尊重し、パートナーとどのように関わり、互いにどのように協力するかの基盤となります。私たちの価値観は私たちの核心であり、私たちは実践と精神の両面で最高の倫理基準に照らして自らを評価するよう努めています。私たちの倫理基準には、コンベラ、お客様、そしてお互いの間の信頼と尊重に基づいて構築される業務関係が含まれます。私たちは、健全な職場環境や、法律を尊重して法的義務と規制義務を順守する盤石なコンプライアンス文化の構築に取り組んでいます。

### 2. コンベラ行動規範

コンベラの行動規範は、その価値観に基づいて生まれたものであり、最高レベルの誠実性、透明性、倫理的行動により責任ある運営に努める私たちを導く羅針盤となっています。この規範は、コンベラ内でコンプライアンスの文化を構築し、私たち自身、お客様、そして自社に対する私たちの基準を定義する上で重要な役割を果たします。行動規範では、コンベラのポリシーや法律に対する違反を目撃したり、その疑いを感じたりした場合に、従業員が声を上げる責任も定義しています。

### 3. グローバル・コンプライアンス・ポリシー

コンベラのグローバル・コンプライアンス・ポリシーでは、グローバルAML/CFTコンプライアンスプログラムの運営に必要な要素を対象に、コンプライアンスプログラムの基盤が定められています。このポリシーでは、コンベラのサービスが違法な目的で使用されるのを防ぐための原則が明記されています。

## 4. ベンダーリスクの管理と監視ポリシー

ベンダーリスクの管理と監視ポリシーでは、想定されるすべてのベンダーが契約前にリスク評価を受けることを要求するとともに、コンベラの倫理基準に照らしてパートナーを評価する際のリスク評価要件を詳述しています。

## 5. グローバルソーシングおよび調達ポリシー

グローバルソーシングおよび調達ポリシーは、世界における製品とサービスの取得について規定するとともに、倫理的な購入とリスク軽減に対応しており、その内容には人身売買や現代奴隷制に関連するリスクが含まれます。

## 6. 脱税ポリシー

コンベラの脱税ポリシーでは、脱税の定義について説明しています。ここでは、脱税のシナリオ例を示し、コンベラが採用している予防措置を概説しています。

## 7. 贈収賄および汚職ポリシー

コンベラは、収益性や現在の慣行への影響にかかわらず、従業員、ビジネスパートナー、第三者による贈収賄や汚職を厳しく禁止しています。コンベラのグローバル贈収賄および汚職ポリシーは、贈収賄や汚職に関してコンベラが実行する原則と管理を網羅しています。また、贈収賄や汚職に関連する危険信号についての詳細な分析も伝えています。

## 8. 人権ポリシー

コンベラの人権ポリシーでは、人権問題に対するコンベラの重視、支援、および対応と、その順守する原則について、明確化されています。

## 9. グローバル内部告発ポリシー

コンベラの内部告発ポリシーでは、法律や規制に対する違反や、コンベラのポリシー、手続き、運営基準に対する違反といった、不正行為の懸念や疑いを報告するための方法とプロセスについて詳述しています。

## 第三者デューデリジェンス

私たちのお客様が誰であるかを理解することは、現代奴隷制や人身売買との闘いにおいて重要な要素です。コンベラは、お客様に関するデータ収集のフレームワークを定めた「Know Your Customer (KYC) プログラム」を導入しました。コンベラのコンプライアンス運営部門は、コンベラのデューデリジェンスと強化されたデューデリジェンスの要件を細かく組み込んだ段階的デスク手続きを活用しています。手続きや他のツールの更新が定期的に行われ、サードパーティのデューデリジェンス要件の実行を担当するチームに通知が提供されます。

収集された情報は、認定や再認定のプロセスで使用されます。またこの情報は、制裁対象者や他の懸念事項（コンベラのビジネスや取引にふさわしくない対象者であることを伝えるニュースなど）の発見にも役立ちます。KYC要件は、私たちの情報収集活動とサードパーティの検証ツールによって継続的に更新されるため、新しい情報が明らかになってゆく可能性があります。私たちは、ダイナミックで率先的なアプローチを目指しています。

## リスクへの評価と対応

私たちは、業界やビジネスに関連したリスクについての把握と対応のため、次のような多面的なアプローチを採用しています。

- コントロールによる取引の監視と分析

- お客様とベンダーへの考察
- 人身売買や他の形態の現代奴隷制に関する従業員とベンダーの教育

## ベンダーリスク管理

コンベラは、サードパーティリスク管理および監視プログラムを施行し、そこでは以下の要件など、新規ベンダー想定者のオンボーディングでの点検要件とプロセスが公式化されています。

- 新しいサードパーティ・サービス・プロバイダーのオンボーディング
- 既存のサードパーティ・サービス・プロバイダーの継続的な監視
- 例外プロセス

私たちは、リスクベースのアプローチにより、ベンダーをそのビジネス内で想定される人身売買や現代奴隷制において評価します。

さらに、コンベラの契約書類と標準の諸条件では、適用されるすべての法律と規制の順守を第三者とその労働者に求めています。

コンベラとの提携を考えるサードパーティ・サービス・プロバイダーは、それに先立って、リスク評価とデューデリジェンスのプロセスを正常に完了する必要があります。

その評価は、コンプライアンス、贈収賄と汚職、現代奴隷制、人権、脱税など、さまざまな問題に焦点を当てています。

コンベラの持続可能性へのアプローチは、そのビジネス、利害関係者、お客様にとっての重要な問題を中心としています。

このアプローチが適切であることを保証するため、重要性評価が実施され、頻繁に点検されます。

## 外部パートナーとの連携

私たちは、現代奴隷制に関して同様の目標を共有する組織と連携することで、違法行為がシステムに入り込むことを阻む私たちの取り組みは強化されると考えています。技術、戦略、情報の共有といった、外部パートナーとの連携や協力は、コンベラが国際犯罪組織による脅威と闘うのに役立ちます。私たちのコンプライアンスとリスクの調査と分析チーム（CRIA）は、法執行機関、非営利団体、政府機関などの外部パートナーと協力して、これらのリスクに対応しています。

## 従業員研修

コンベラの行動規範の年次トレーニングは2022年に導入され、行動規範を読んで順守することの宣言がすべての従業員に求められます。

コンプライアンス、マネーロンダリング防止/テロ資金対策、詐欺防止、制裁、贈収賄と汚職、利益相反、内部告発、その他の関連分野を含む（ただしそれらに限定されません）トピックについて、従業員に追加のトレーニングが提供されます。

2023年には、対象となるすべての従業員が、強制労働を含めた、サプライチェーンにおける現代奴隷制の問題を直接扱う、人身売買に関する研修を受講しました。

## 従業員コミュニケーション

コンベラは、すべての従業員ミーティング、すべての社内メール、個別のチームミーティング、および、すべての従業員がアクセスできるソーシャル・イントラネット・プラットフォームなどを含む（ただしそれらに限定されません）、さまざまな方法やツールを活用して、従業員とコミュニケーションを図っています。プラットフォームでは、リアルタイム更新や、内部告発などの手続き情報といった、さまざまな情報やリソースが提供されます。

## コンベラの倫理ホットライン

現代奴隷制や人身売買に関連する問題を報告する主要チャンネルは、コンベラ倫理ホットラインです。そのメカニズムは、内

部告発や他の倫理的懸念事項を受け取ったり処理したりするために、安全で機密性の高いものとなっています。コンベラ倫理ホットラインは、[ホットラインへのリンク](#)で利用できます。そこでは、従業員などが、適用法に従って匿名で懸念を表明できます。人身売買の疑いに関する報告は、同じウェブポータルでオンラインフォームに記入して送信することもできます。またコンベラは[モバイルサイトへのリンク](#)でモバイルサイト投稿ポイントを提供しています。

懸念事項を報告する手段はすべて、24時間年中無休で利用できます。ウェブベースのレポートツールとフリーダイヤルの電話回線での投稿や通話は、21種類の言語でサポートされています。コンベラ倫理ホットラインは、外部の独立したサードパーティベンダーによって管理されています。コンベラ倫理ホットラインを通して報告された懸念事項は、検討のために直ちにコンベラ倫理オフィスに転送されます。

コンベラはすべての投稿を確認し、必要な場合はコンベラ倫理調査手続きに基づいて調査や対応を行います。

コンベラの内部告発のポリシーと手続き、および提供される報告チャンネルは、データ保護、報告の範囲、通知、匿名性、提供される言語など（それらに限定されません）において、現地国の法的要件に完全に準拠しています。

## 報復

コンベラは、誠意を持って懸念を表明した人に対する報復を禁止します。コンベラは、報告者が脅迫、不利益、報復を恐れることなく秘密裏に報告できるよう、報告者への保護と対策を概説した関連するポリシーと手続きを施行しています。

## 環境、社会、ガバナンス

コンベラの環境、社会、ガバナンス（ESG）プログラムは、私たちのお客様、パートナー、従業員、そして周囲のコミュニティにとって極めて重要です。このプログラムの継続的な開発と実行は現在、倫理および汚職防止チームによって監督され、一方でコンベラの執行委員会はコンベラの全体的なガバナンス戦略に関連する情報を提供しています。

2023年にコンベラは、ESGプログラムにおけるESG戦略を正式にリリースしました。コンベラは、同プログラムを概説したESGポリシーを世界規模で導入しました。そこでは、コンベラがESGの考慮事項と側面をビジネスの継続的な管理に統合するアプローチを詳述するとともに、3つの柱の主な構成要素と、そのそれぞれに私たちがどのように貢献しようとしているかが概説されています。また、コンベラの、すべての利害関係者への透明性と情報開示に関するコミットメントや、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に向けて一貫して前進していくというコミットメントも、特別に詳述しています。また、コンベラの、すべての人権基準に準拠したグローバルビジネス遂行へのコミットメントと、国連グローバル・コンパクトの10原則にあるようなビジネスを行うための原則主義のアプローチの採用も再確認しています。

コンベラは、環境への影響を削減し、社会的責任を果たし、すべての利害関係者のための価値を創造することを目指して、グローバル環境ポリシーも実行しています。このポリシーでは、コンベラがその存在により生じうる環境への影響を軽減するために行ったコミットメントについて特別に詳述しています。

コンベラはグローバルESGリスク評価を実施し、全体的なリスク戦略にESGを段階的に導入しています。コンベラは排出量やプログラムの他の要素の監視も開始しており、現在は、排出量と今後の目標を数値化するため、2023年に講じた手順を定義する年次レポートを作成中です。

## 行動の有効性の評価

2023年1月から2023年12月まで、コンベラは第三者による6回の試験や監査の対象となりました。私たちは、世界中の規制当局や銀行パートナーと積極的に対面し、私たちのプログラムの点検や評価を行って、その運営が適用法に準拠しているかどうかを判断しています。またコンベラは、これらの点検を独自のコントロールフレームワークと併用して、プログラムの有効性を評価し、必要な場合はコンベラの内部監査結果と関連させて機能強化を実施します。

### 規制当局の試験

コンベラがライセンスを受けているすべての法域は、私たちの運営の安全性と健全性、および適用法の順守を調査する権限を有します。

### 内部監査

# 現代奴隷法に関する声明



コンベラの内部監査部門は、コンプライアンスプログラムの各要素を毎年評価し、リスクと改善機会を特定します。私たちは今後も評価を受け、規制要件の順守を自己評価してゆきます。

## 次のステップ

コンベラは、人身売買、強制労働、社会的弱者への搾取、性的人身売買、その他の現代奴隷制と闘うために、その世界的な足跡を活用することに引き続き尽力します。私たちは、この重要な問題について啓発し、認識を高めるために、従業員、お客様、ベンダーと関わる新たな機会を引き続き模索してゆきます。私たちは、必要に応じた、従業員のトレーニング、率先的コンプライアンス管理の開発、インテリジェンスに基づくダイナミックな対応など、さまざまな対策を通じて取り組みを強化してゆきます。

## 質問

コンベラの倫理オフィスへのお問い合わせ：[ethics@convera.com](mailto:ethics@convera.com)